

進路指導の実態調査・研究及び就業体験・学習会等の企画運営

I 団体の概要

都立肢体不自由特別支援学校 18 校及び、都内にある筑波大学附属桐が丘特別支援学校、新宿区立新宿養護学校の、進路指導担当教諭 35 名で構成し、全体での協議会や目的別の作業部会で、進路指導上の課題検討や情報共有を行う。また、就業体験や学習会の企画・運営、進路指導とキャリア教育に関する調査・統計を行い、関係諸機関との連携を図る。

II 研究の目的

- ・進路指導に関する課題の解決や情報共有・共通理解を図る。
- ・就業体験等を企画し、進路先開拓とキャリア教育推進に資する。
- ・諸調査の成果を活用し、関係諸機関と共に進路指導を推進する。

III 研究の内容

- 1 進路指導に関する情報交換と教員の専門性の向上
 - ・年間 7 回の協議会開催、随時の目的別作業部会開催
 - ・教員の専門性向上のための研修会実施
- 2 各種調査・統計
 - ・卒業生進路先状況・追調査、作業学習、外部機関の活用例 等
 - ・多様な学び方や働き方に関する調査・研究
- 3 就業体験
 - ・企業の CSR 活動を活用した共同企画
- 4 在宅就労に関する調査・研究
- 5 各校共通の進路指導の手引きの活用

IV 実践事例

1 就業体験

(1) 中学部対象「マイクロソフト職場見学会」

日本マイクロソフト株式会社及び日本ヒューレット・パッカート合同会社の協力の下、中学部の生徒のキャリア教育の機会としてオンラインでの職場見学会を実施した。

当日は、12 校 48 名の生徒が参加し、グループに分かれて、社員の方々から、企業の取組等について学ぶとともに、アプリケーションを活用したグループワークを行った。

(2) 高等部 1 年生対象「会社見学・面接練習」

外資系金融機関の御協力の下、昨年度に引き続き、高等部 1 年生を対象にキャリア教育の機会として実施した。

当日は、8 校 14 名の生徒が参加し、会社見学、面接練習等を行った。参加生徒の進路選択、決定に向けて、自己の課題を確認する機会となり、自己理解を深める機会となった。

(3) 高等部 2 年生対象「キャリア・メンタリング・プログラム」

ゴールドマン・サックス証券株式会社の御協力の下、高等部 2 年生のキャリア教育の機会として就業体験を実施した。

当日は 11 校から 23 名の生徒が参加し、主催「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」進行の下、参加者とのアイスブレイクや会社見学、キャリア・メンタリングに取り組み、他者理解やコミュニケーションの実践、自己理解を深めた。

2 各種調査・統計

(1) 卒業生進路先調査・追調査

都内肢体不自由特別支援学校高等部を卒業し、大学等への進学・企業等への就労をする生徒数は、決して多くない。各校での指導事例の蓄積が難しいため、本協議会において事例を共有することで東京都全体における肢体不自由特別支援学校の進路指導力の向上を図った。

(2) 作業学習の取り組み内容調査

肢体不自由特別支援学校における作業学習は、知的障害教育を主とする特別支援学校よりも、生徒の身体機能面の制約から様々な工夫が必要となる。各校における学習内容や支援方法、指導方法の工夫など共有することで、生徒の就労や社会参加に向けた段階的な指導力を向上させることを図って実施した。

V 学習会等

進路担当教員の専門性を向上させる研修

1 東京都肢体不自由特別支援学校進路指導連絡協議会員の指導力向上

「親なきあと」相談室/渡部行政書士社労士事務所より渡部 伸 様 を講師に迎え、「障害のある子の「親なきあと」-親あるあいだの準備-」をテーマに研修会を実施した。他の道府県における自治体の取り組みや学校生活段階でつけておきたい力について、現状や課題について学ぶ機会となった。

2 東京都立肢体不自由特別支援学校の進路指導に関わる教員向け

昨年度、協議会内の作業部会として、若手教員や新たに進路指導に携わる教員向けに、肢体不自由特別支援学校における進路指導の在り方や内容、福祉サービス制度など記載した手引きについて、今年度当初から冊子の活用を始めた。

VI 研究の成果と課題

研究成果として次の5点が挙げられる。

- 「情報交換・専門性の向上」では、生徒数が少ないことや多様な障害から、実践の蓄積が困難な肢体不自由特別支援学校において、指導について幅広く共有することができた。
- 「調査・統計」では、広く都内の状況を共有し、各校の進路指導に生かすことができた。
- 「就業体験」では、企業と連携した企画が複数校で実施できた。また、生徒の体験・経験を広げることができた。
- 「在宅就労調査・研究」では、生徒の実態に応じた多様な働き方を学び、各校の進路指導に反映させることができた。
- 「手引きの活用」では、昨年度末に発行した手引きを用いて、若手教員の育成や、更なる専門性の向上など各校で多様化する働き方や学び方の指導、企業就労・大学進学の指導の充実について実施することができた。

<令和7年度連絡先>

団体名		東京都肢体不自由特別支援学校 進路指導連絡協議会	
代表者	所属	東京都立府中けやきの森学園	
	職 氏名	統括校長 相賀 直	
	連絡先	042-367-2511	
事務局	所属	東京都立府中けやきの森学園	
	職 氏名	主幹教諭 吉田 久明	
	連絡先	042-367-2511	
団体ホームページ		URL	二次元コード